## 総務局広報部

03-3746-1111

2015年5月22日

## サウジアラビア王国 王子が TBS 表敬訪問『SASUKE』アラビア語圏版制作で契約締結

サウジアラビア王国のフェサール王子(His Royal Highness Prince Faisal bin Bandar bin Sultan Al Saud)が来日し、本日、TBS 本社を表敬訪問されました。



フェサール王子の来日は、TBS 番組『SASUKE』の中東現地制作版"Arabian Ninja Warrior"(仮称)の実現に向けた覚書調印のためです。テレビ番組の契約のため、王族が来日するのは極めて異例のことです。王子は、『SASUKE』全話の結末を覚えているほどの大の『SASUKE』ファン。永年、『SASUKE』中東版の制作を熱望しており、今回は表敬訪問を兼ねて来社、石原俊爾 TBS ホールディングス社長と和やかな雰囲気のなか覚書に調印されました。これを機に、アラビア語圏全域(17 カ国)に及ぶ『SASUKE』の包括的展開に向けたプロジェクトが本格化します。王子は、スタジオでの番組収録風景など TBS 社内も視察、今週

末の緑山スタジオでの『SASUKE』最新話の収録も視察予定です。

今年は、日本とサウジアラビアの外交樹立60周年にあたり、昨年、同国のサルマン皇太子(His Royal Highness Prince Salman bin Abdulaziz Al Saud:当時、現第7代国王)が公賓として来日した際には、両国が協力して60周年を祝賀することで政府間合意しています。これに基づき、「両国の『包括的パートナーシップ』の強化に向け、様々なレベルでの相互理解及び協力の実現が期待」されています(外務省ホームページ)。一方、政府は、日本コンテンツの輸出拡大と産業連携を「Cool Japan(クールジャパン)」政策として推進しています。ちょうど TBS も今年テレビ放送60周年にあたりますが、今回の契約は、日本の放送局が王族と、コンテンツを通じたアラビア語圏全域に及ぶプロジェクトを推進するという、前例のないものとなります。